

# “十三・五”省エネ目標と政策

国家発展改革委員会  
エネルギー研究所  
戴彦徳

# 交流内容

- 中国エネルギー効率の変遷
- 「十二・五」計画の省エネ目標達成状況
- 「十三・五」省エネ目標と政策
- 長期省エネの目標と対策

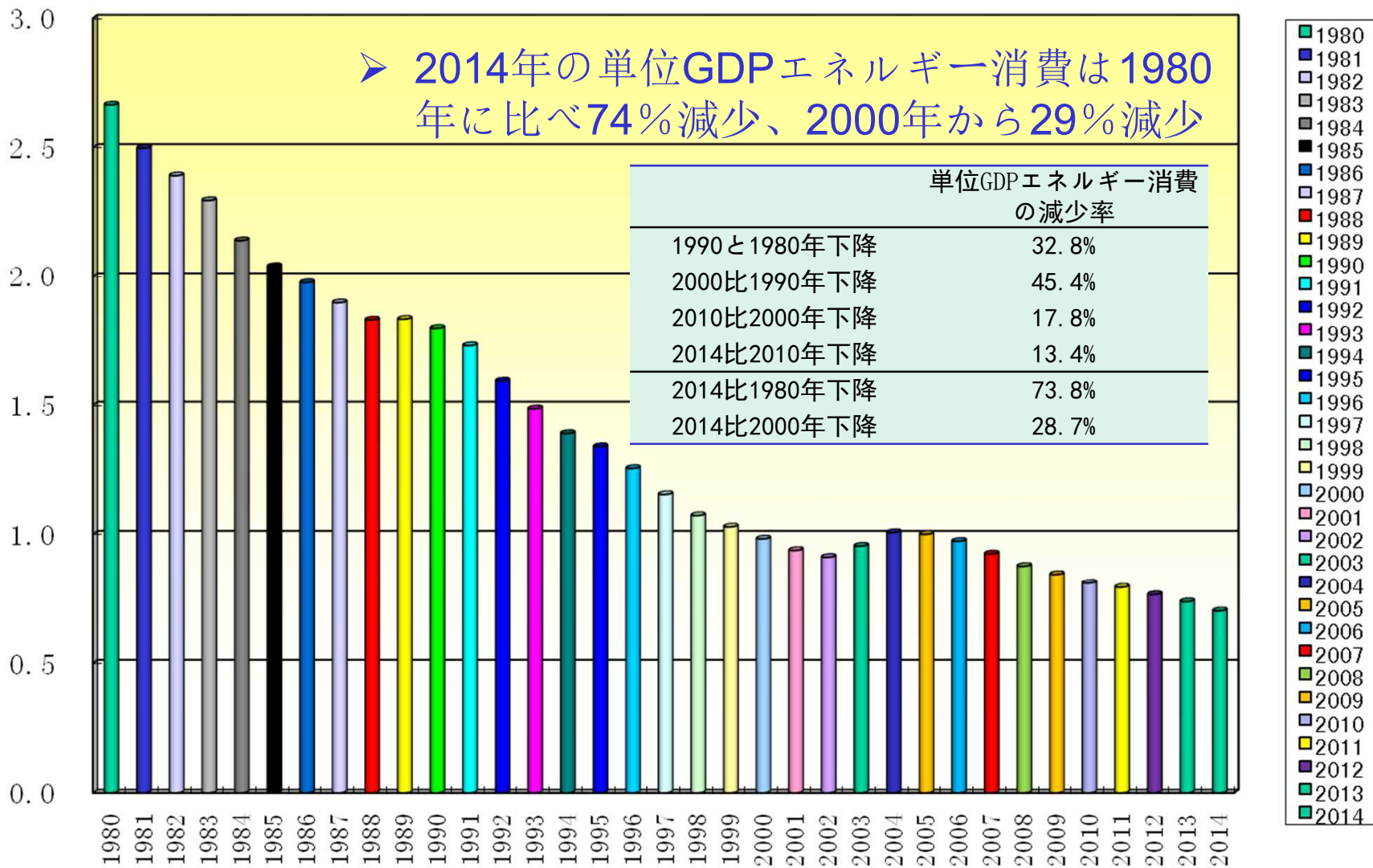
## 中国における省エネの重要性が増々高まっている

- 80年代のエネルギー戦略：開発と節約を共に重視してきたが、近年では節約を優先
- 90年代半ばのエネルギー戦略：節約と開発を共に推進し、節約を最優先。
- 新世紀に入り、エネルギー発展戦略では、省エネ優先を確立。
- 2006年、資源節約を基本国策とし、省エネ排出削減を、国家5カ年計画における拘束的な指標とした。
- エネルギー供給における省エネの位置付けの変遷：  
： 共に重視 → 共に推進 → 優先 → 発展における拘束的な指標

# エネルギー経済効率が大幅に向上

---30数年で単位GDPエネルギー消費が大幅に減少

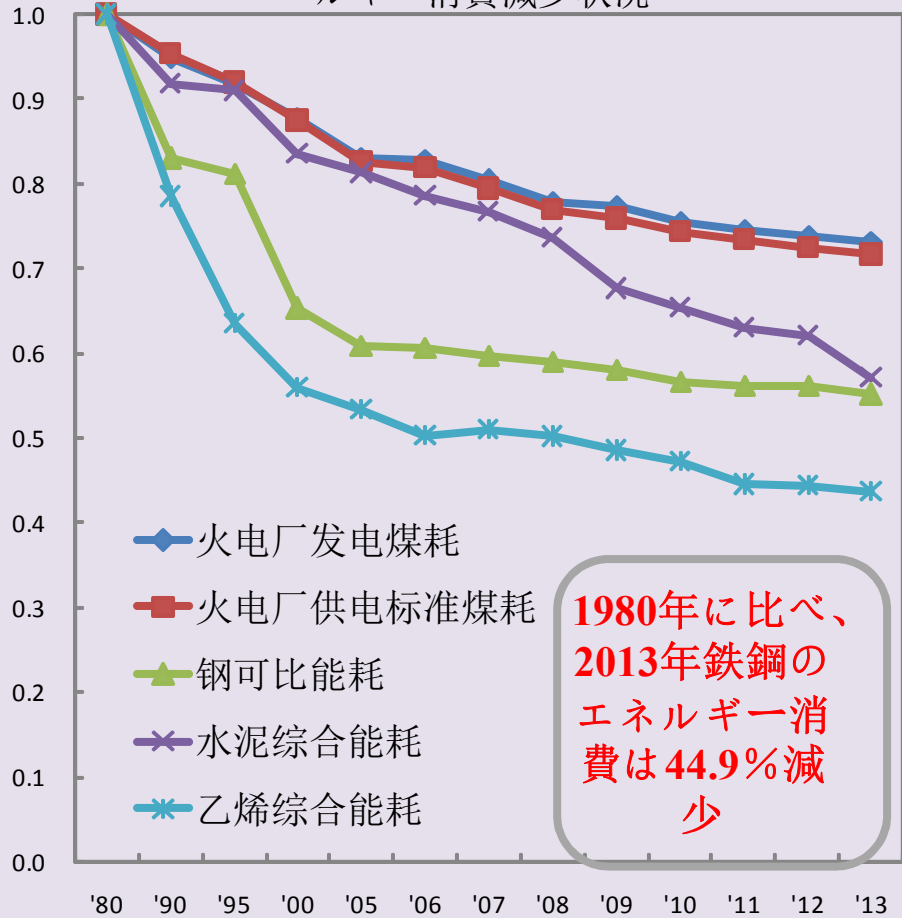
▶ 2014年の単位GDPエネルギー消費は1980年に比べ74%減少、2000年から29%減少



# 製品生産のエネルギー効率が大幅に向上

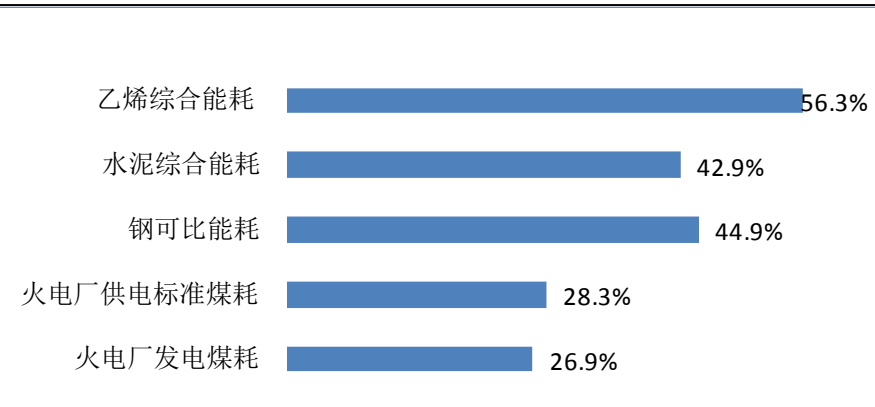
---主要多消費エネルギー製品におけるエネルギー消費が減少

1980-2013年主要多消費エネルギー製品のエネルギー消費減少状況



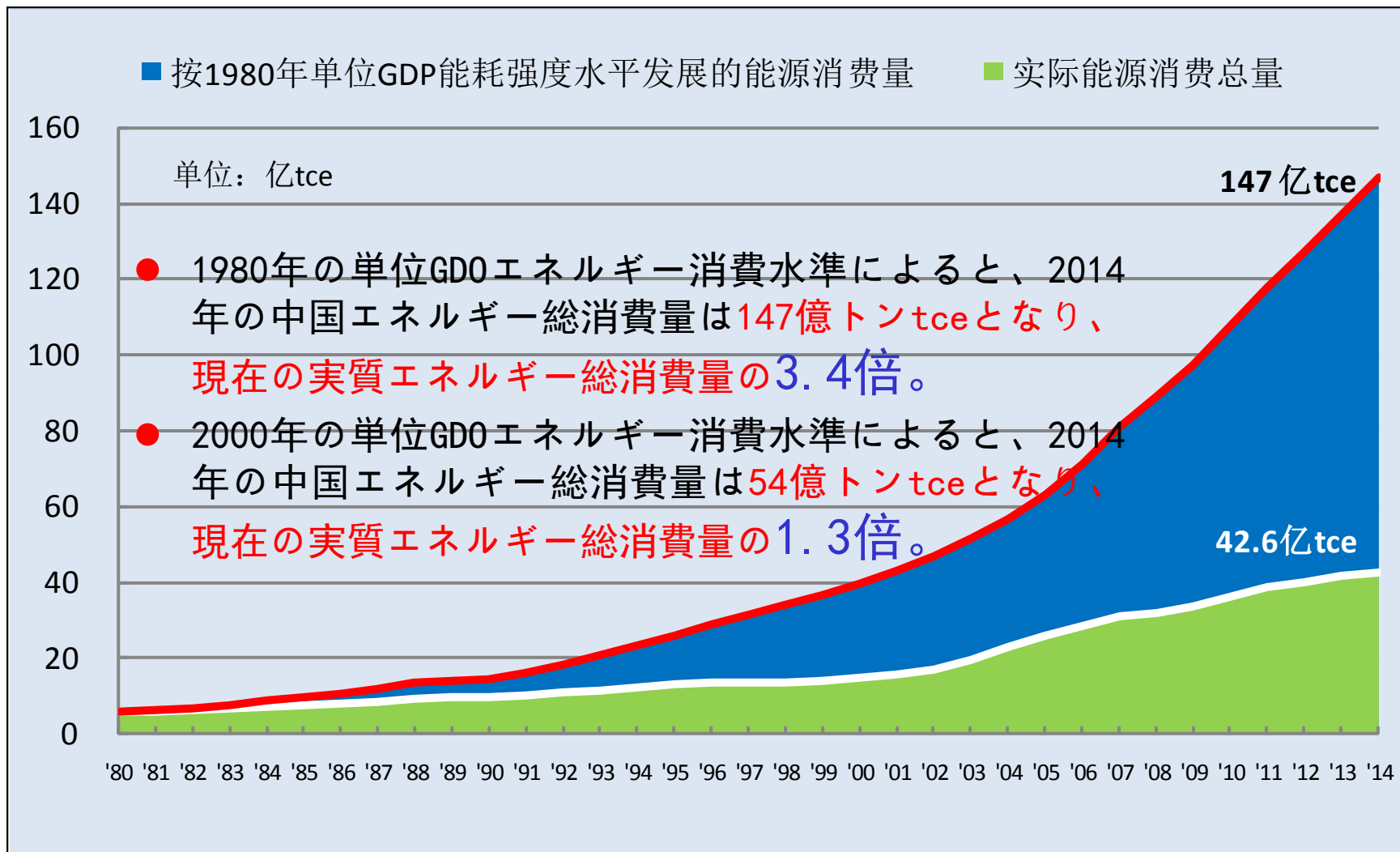
- 1980年から、中国の主張多消費エネルギー製品のエネルギー消費は減少を維持。
  - ◆ 2013年、火力発電所における発電と電力供給におけるエネルギー消費はそれぞれ26.9%と28.3%減少;
  - ◆ **鉄鋼のエネルギー消費減少44.9%;**
  - ◆ セメントの総合エネルギー消費減少42.9%
  - ◆ エチレンエネルギー消費56.3%減少

2013年主要多消費エネルギー製品の1980年からの減少



# エネルギー効率の向上による経済への貢献

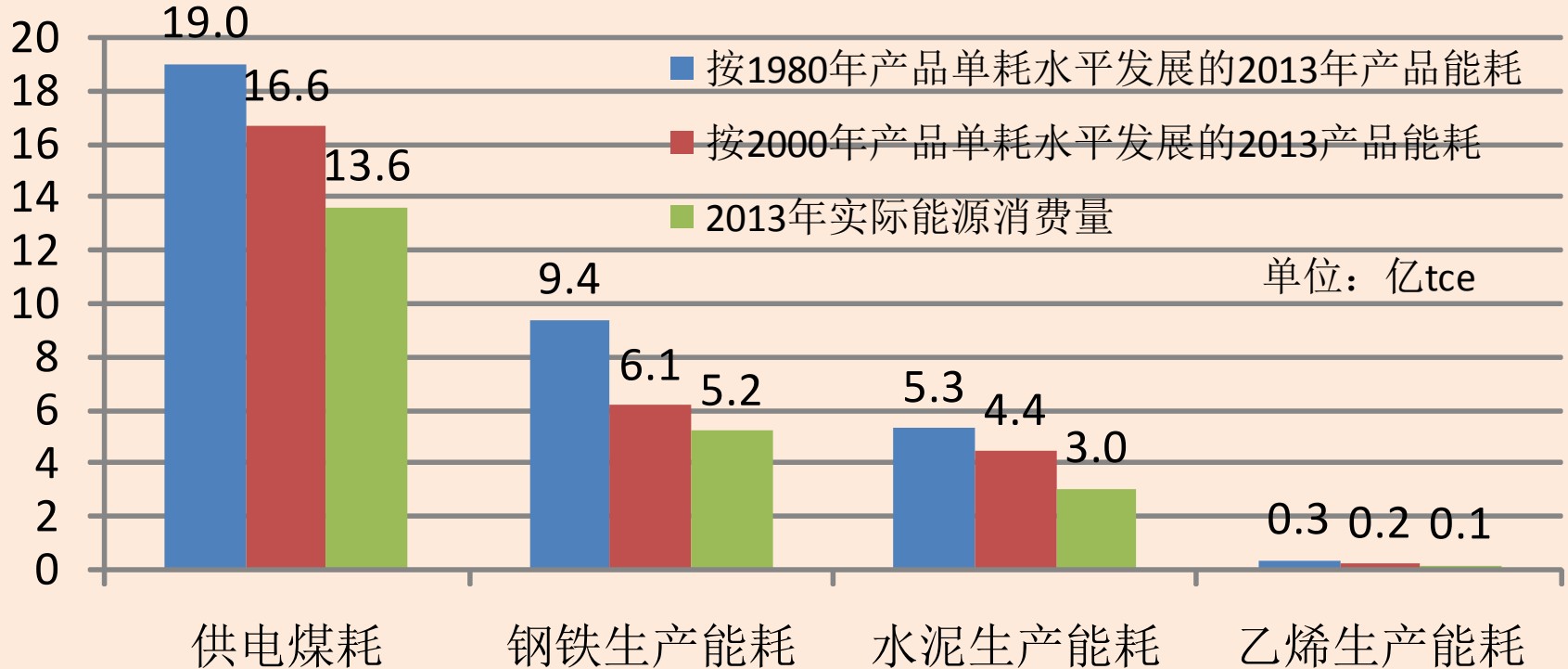
---エネルギー消費をコントロールし、環境汚染を有効的に抑制



# エネルギー効率の向上による経済への貢献

---多消費エネルギー製品単体のエネルギー消費が減少することで、大量のエネルギー消費を節約できる。

- 2013年と1980年を比較；火力発電、鉄鋼、セメントの3製品におけるエネルギー消費節約は11億トン標準炭を超える。その中で
  - ◆ 火力発電所の電力供給エネルギーは5.4億トン標準炭を節約
  - ◆ セメント総合エネルギー消費では2.3億トン標準炭を節約
  - ◆ **鉄鋼総合エネルギー消費では4.2億トン標準炭を節約**



# 交流内容

- 中国エネルギー効率の変遷
- 「十二・五」計画の省エネ目標達成状況
- 「十三・五」省エネ目標と政策
- 長期省エネの目標と対策



# 国家「十二・五」における省エネ排出削減目標

- 単位GDPエネルギー消費を16%削減
- 単位GDP二酸化炭素排出を17%削減
- 主要汚染物質排出総量を8%～10%削減
  - ◆ 化学酸素量、二酸化硫黄の排出を8%削減
  - ◆ アンモニア窒素、窒素化合物を10%削減
- 森林面積を6億m<sup>3</sup>に拡大、森林カバー率を21.66%に引き上げる。
- 非化石燃料の一次エネルギーに占め割合を11.4%に引き上げる

# 「十二・五」の省（市）省エネ目標

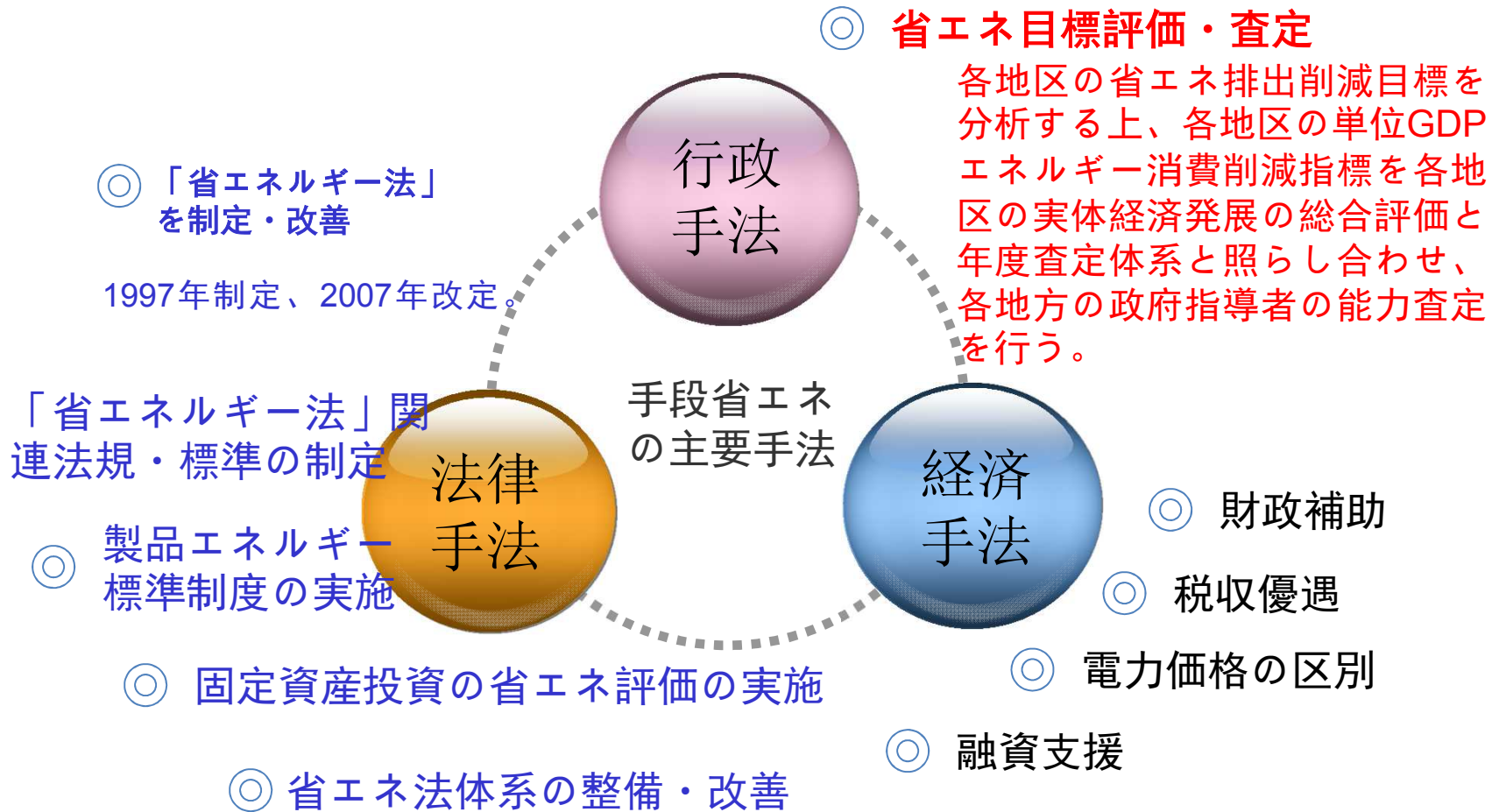
## ---省エネ排出削減の地区分配

各地区の経済発展水準、東中西部の経済発展の差異および各地の「十一・五」期間での省エネ目標の達成状況に基づき、全国31省市の自治区を5つの地区に分類。省エネ指標を分配。



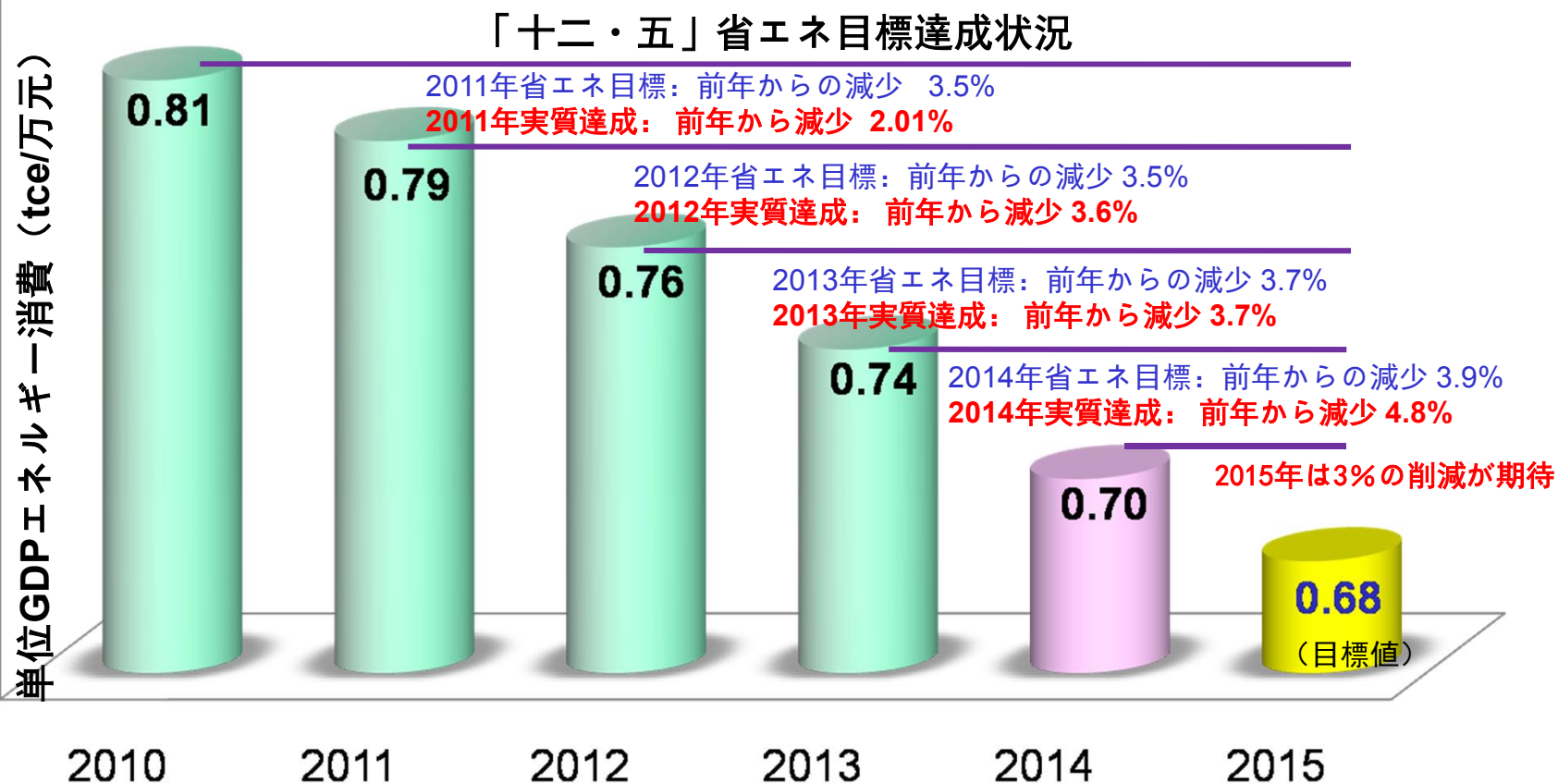
# 「十二・五」省エネ目標実現の政策措置

行政、法律、経済手法による省エネ推進



# 中国「十二・五」省エネ目標達成状況

- 「十二・五」目標：エネルギー消費16%削減、6.7億トン標準炭の削減
- 「十二・五」の4年で累計5.4億トン標準炭を削減
- 2015年の1~3四半期における単位GDPエネルギー消費は5.7%減少
- 期間中の目標達成が予想される



注：単位GDP能耗強度数値が2010年可比価格

国家发展和改革委员会能源研究所

# 交流内容

- 中国エネルギー効率の変遷
- 「十二・五」計画の省エネ目標達成状況
- 「十三・五」省エネ目標と政策
- 長期省エネの目標と対策

# 「十三・五」が直面する形勢

- **直面の問題：** 発展のバランスが悪く調和がとれず、持続可能でないことが問題。
  - ◆ 発展方式が粗放的、创新能力が弱く、一部産業の過剰生産があり、企業効率が減少、重大な安全面での事故が多発；
  - ◆ 城鎮間の発展不均衡； **資源の逼迫、生態環境悪化の形勢は根本的に改善されていない；**
  - ◆ 基本公共サービス供給の不足，収入格差の拡大、人口高齢化の加速、貧困の撲滅など；
  - ◆ 人民社会文明の素質向上が必要 ； 法治建設の強化が必要；
  - ◆ 指導者の思想、作法、能力水準の向上が必要、党員、幹部が模範となることが期待される。

“十三・五”期間では、構造の最適化、動力増加、矛盾の解消、短所補填に注力する

# “十三・五”の経済社会発展の主要目標

- 経済は中高速成長を維持
  - ◆ 2020年GDPと都市農村住民の一人当たり収入は2010年の倍を目指す
  - ◆ 创新型国家と人材強国へ
- 生態環境の質の改善
  - ◆ 生産方式、生活方式のグリーン化、低炭素水準の向上
  - ◆ エネルギー資源開発利用効率の大幅な向上、エネルギーと水資源消費、建設用地、炭素排出総量を有効的に抑制
  - ◆ 主要汚染物質の排出量の大幅な減少。主要機能区の配置と生態安全圏の基本形成。
- 人民生活水準と質の普遍的向上。
- 国民素質と社会文明程度の向上。
- 各方面制度の成熟と形成。

# “十三・五”省エネ目標

- 2015年6月、温室ガス削減における国家自主貢献の目標を公布、中長期の省エネ目標と任務を明確にした。

## 強化应对气候变化行动 —— 中国国家自主贡献

Enhanced Actions on Climate Change: China's Intended Nationally Determined Contributions

	2014年	2020年目标	2030年目标
二酸化炭素の削減ピーク値			二酸化炭素の排出は2030年頃にピーク値に到達。
2005年比単位GDPにおける二酸化炭素の排出削減	33.8%	40%-45%	60%-65%
非化石エネルギー消費の一次エネルギーに占める割合	11.2%	15%	20%
2005年比森林面積の増加	2160万ha	4000万ha	
2005年比森林蓄積総量の増加	21.88億m <sup>3</sup>	13億m <sup>3</sup>	45億m <sup>3</sup>



# 「十三・五」省エネ政策

- 拘束性指標管理の強化，**総量と強度を双方に抑制**
  - ◆ 全国民省エネ行動計画の実施
  - ◆ 省エネ基準の引きあげ
  - ◆ エネルギー効率トップランナー制度を展開
- **エネルギー権、水権、汚染排出権、炭素排出権**による分配制度を構築
- **有償使用、予算管理、投融资メカニズム、育成・発展の「四権」**取引市場を設立。
- エネルギー管理と節水管理を合同推進

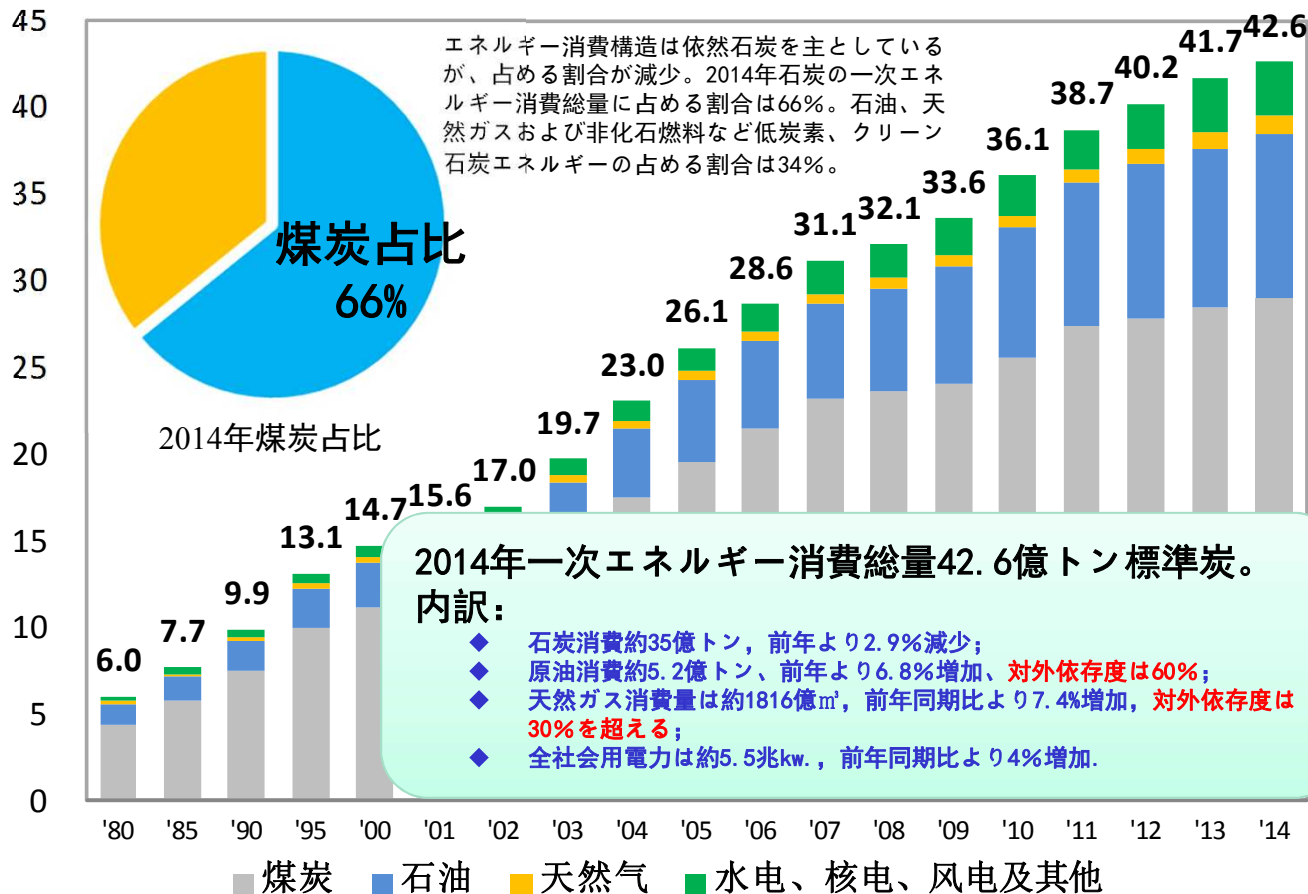
# 交流内容

- 中国エネルギー効率の変遷
- 「十二・五」計画の省エネ目標達成状況
- 「十三・五」省エネ目標と政策
- 長期省エネの目標と対策

# 中国の中長期省エネ排出削減が直面する形勢

——エネルギー消費は世界一だが、1人当たりエネルギー消費は低い。  
エネルギー需要は増加する。

## 一次エネルギー消費総量（億トン標準炭）



## 2013年一人当たり一次エネルギー消費総量 (tce/人)

- アメリカ：12.4
- フランス：9.4
- 韓国：9.2
- ロシア：8.2
- ドイツ：7.3
- 日本：5.9
- **中国：3.1 (2014年)**
- OECD：8.0
- 世界：3.1

注：世界主要国家和地区の人均能耗按发电煤耗法进行计算。

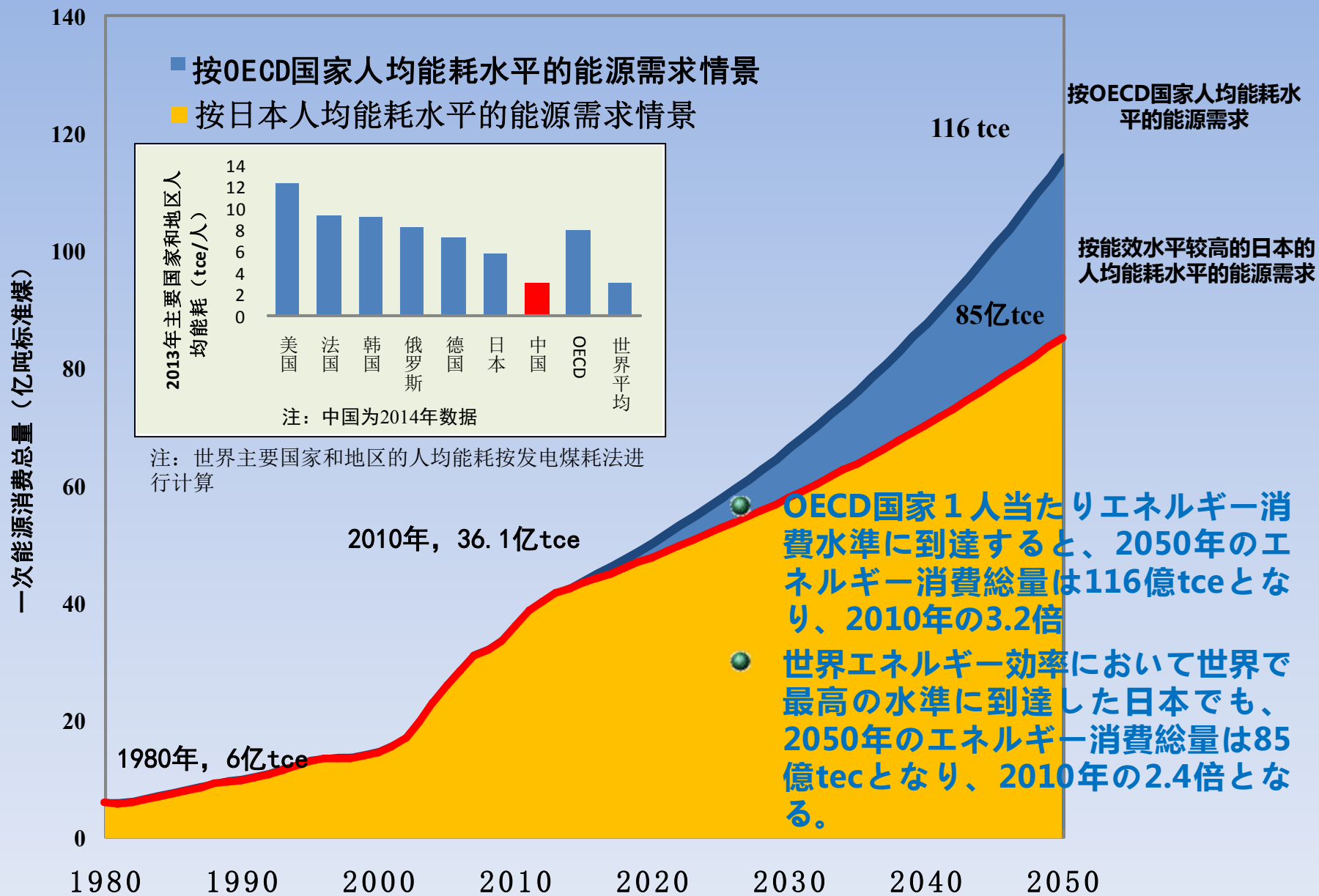
# 中国中長期における社会経済発展目標

- 2020年に全面的小康社会を実現《経済発展（1人当たりGDPを倍、収入を倍）、民主の健全、科学教育の進歩、文化繁栄、社会調和、生態文明》
- 2030年に基本工業化完成
  - ◆ 都市化が相当なレベルまで到達；
  - ◆ インフラ建設の完成；
  - ◆ 多消費エネルギー製品生産の大幅削減。
- 2050年の经济社会発展レベルは中等発展国家水準に到達
  - ◆ 快適生活
  - ◆ 交通便利
  - ◆ 碧水蓝天

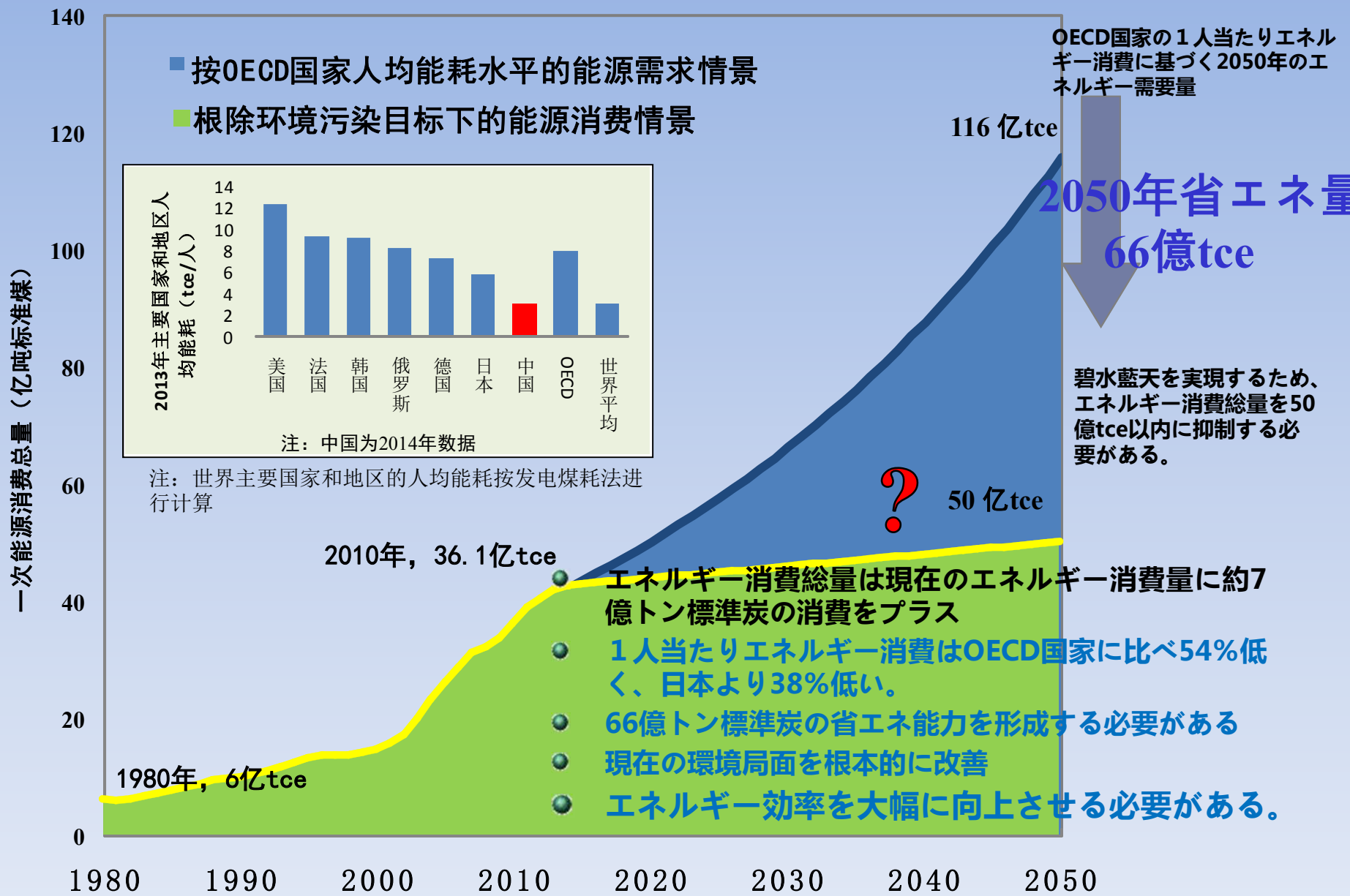
中国夢

# 2050年のエネルギー需要予測

経済発展目標を実現するため、伝統の工業化を続ければ、エネルギー需要は倍速で増加する



# 2050年の環境汚染削減目標の下、エネルギー効率向上の目標

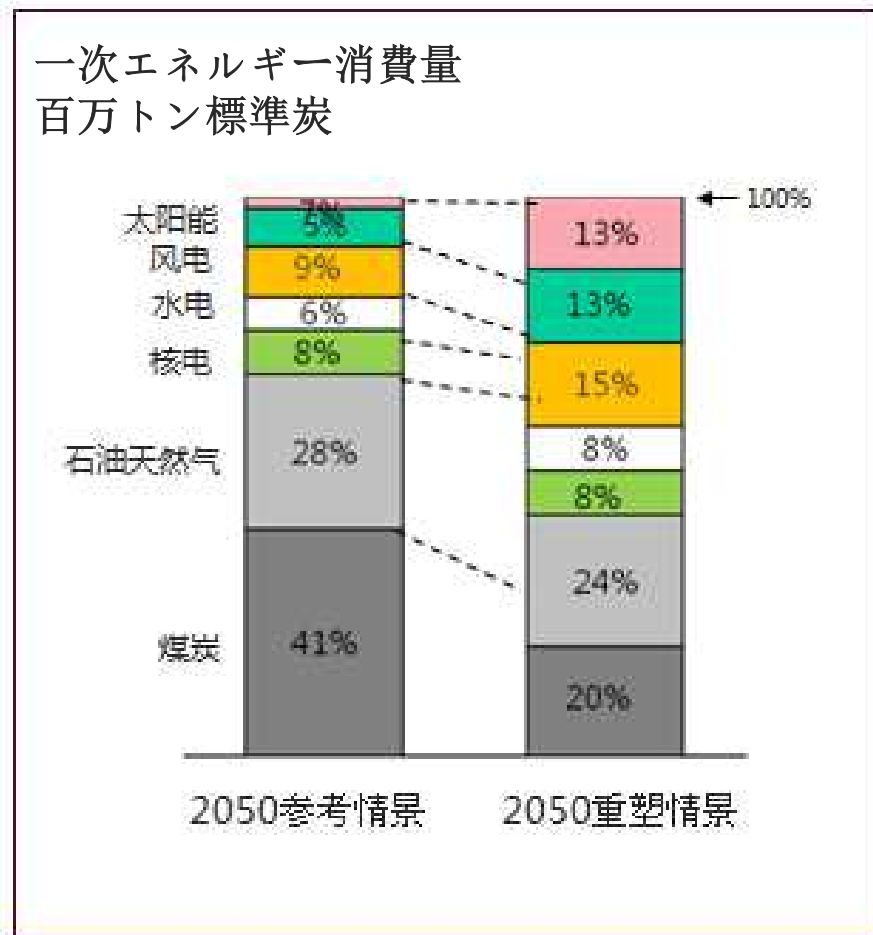
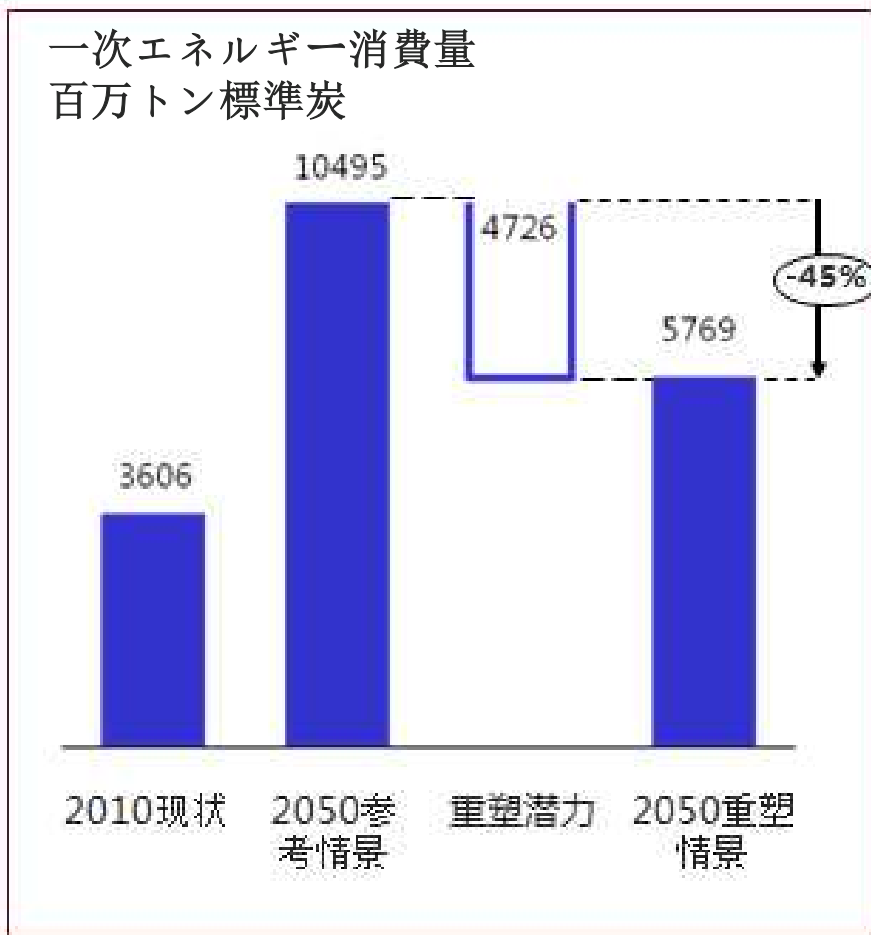


# エネルギーの再構成：2050年のエネルギー需要状況

(中米連合による課題研究成果)

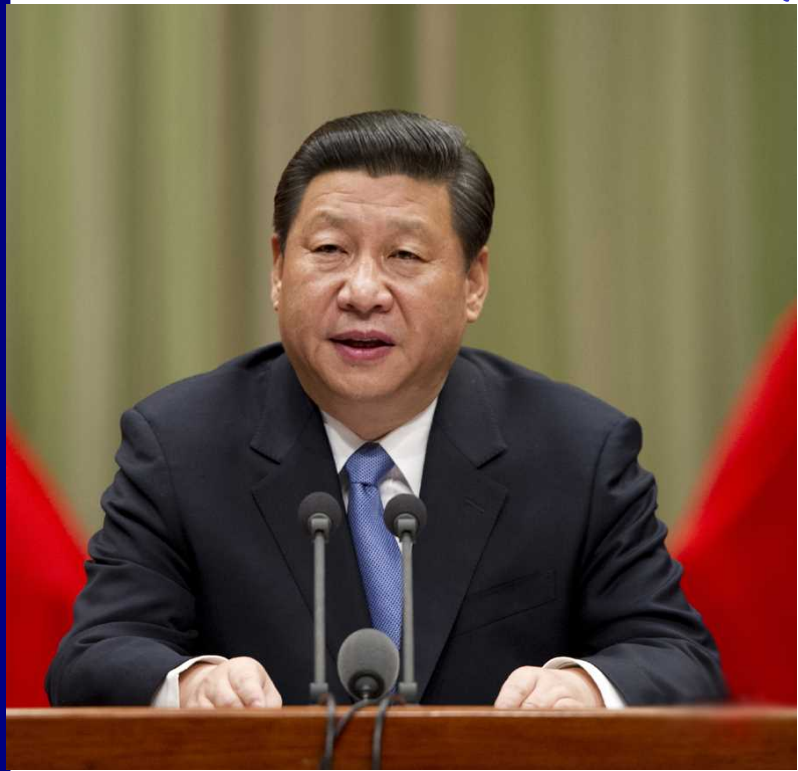
エネルギー効率の向上により、需要を大幅削減。2050年はGDPが6倍に成長しても、エネルギー需要は2010年から36%増加、エネルギー効率は需要増加の45%を満たす。47.3億の貢献に相当。

エネルギー需要が大幅減少、経済成長との切り離しを実現 グリーン低炭素エネルギーは一次エネルギー供給の主要体となる



# 長期エネルギー効率政策

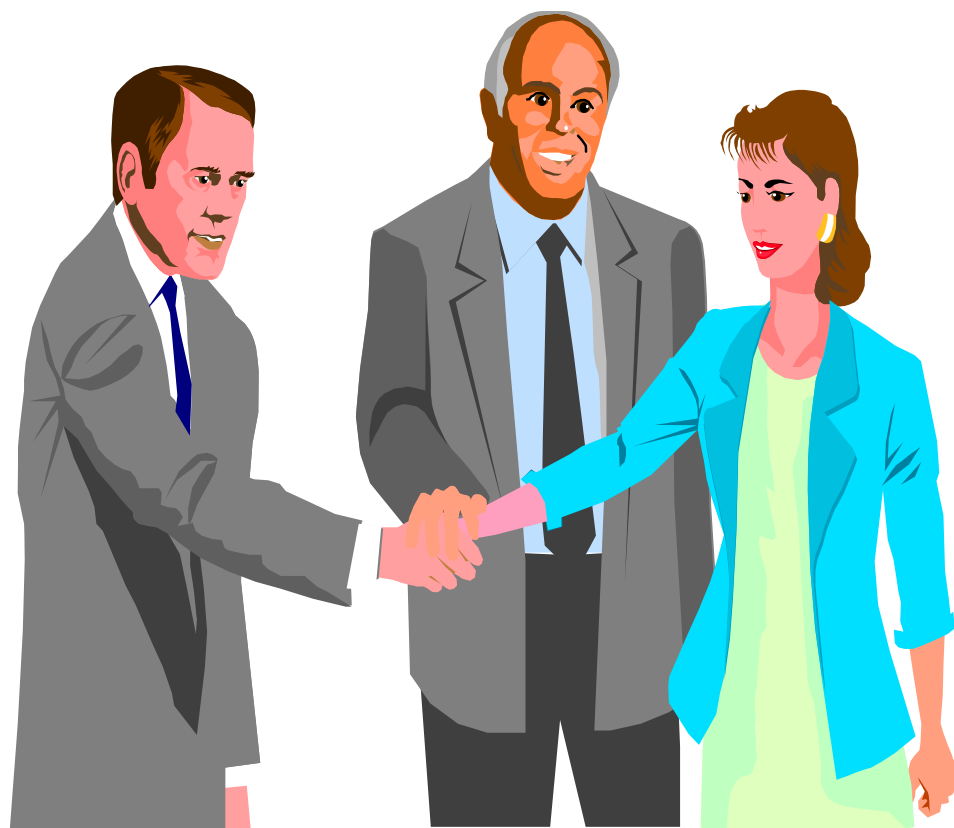
## ---エネルギー消費と生産革命の推進



- エネルギー生産と消費革命の推進は長期的な戦略で、重点任務と重要措置の実施を加速する必要がある。
  - エネルギー消費革命を推進、不合理なエネルギー消費を抑制。
    - エネルギー総消費量を抑制、省エネ優先方針を有効的に実施、**省エネを経済社会発展の各過程と分野に行き渡らせ**、産業構造を調整、都市化省エネを重視、儉約の消費感を樹立、エネルギー節約社会の形成を加速する。
  - エネルギー供給革命を推進、多元的供給体験の構築
    - 国内多元的供給の安全性を確立、石炭のクリーン・高効率使用の推進、非石炭エネルギーの発展、石炭、石油、原子力、新エネルギー、再生可能エネルギーなど多層的供給体系を形成、エネルギー供給網および関連設備の建設を強化。
  - エネルギー技術革命を推進、産業のレベルアップを帯同
  - エネルギー体制革命を推進、エネルギー発展を加速
  - 国際協力を強化、条件下におけるエネルギー安全を開放

2014年6月13日、習近平国家主席は中央財經指導者第6次会議を招集、**エネルギー需給局面は新しい変化を迎え、国際エネルギー発展は新たな形勢に直面し、国家エネルギー安全を保障するため、必須推动能源生产和消费革命**エネルギー生産と消費革命を推進する必要があると強調。





戴彦德

[daiyd163@163.com](mailto:daiyd163@163.com)

13901120706

谢谢！

*Thank you for your attention!*